

すまいる

第134号
発行日
令和5年9月8日
発行責任者
前田 潤悦
編集者
尾池 優花
新元 好生

9月2日

開所日イベント

【簡易加工科】

簡易加工科はこの日はみんなでカラオケ大会。バーベキューハウスでみんなでマイクを片手に歌いました。工藤さんはカラオケの場馴れしているようで「くちなしの花」を体でリズムを取り可愛らしい歌声で披露してくださいました。秋山さんは十八番の曲である「L.A.L.A.L.A.LOVESONG」を歌ってくださいました。また、デュエットで歌っている方もいたり、楽しいカラオケ大会になりました。

【みらい科】

みらい科は、7月の開所日イベントで多古の道の駅でソフトクリームを食べる予定でしたが、その時はかなりの土砂降りで目的地を変更しました。今回は念願の多古の駅へ行ってきま



した。ソフトクリームや肉まん、ワッフルなどなど美味しそうな物がたくさん。皆さん好きなものを券売機で選び、買っていきます。お店の方から「どこから来たの」と話をしていく内に、なんとそのお店の方もふさ学園のみどり祭りに毎年お店を出展しているのだとか。不思議な巡り合わせでした。皆さん、とても良い表情をされ、ドライブを楽しまれていました。

夏まつり

8月11日、朝から利用者さんは、足取りが軽く「今日は何を食べようかな」「お肉たくさんあるかな」とBBQをとても楽しみにされている様子でした。午前中は、各科に出向き、準備した出し物を皆さんで楽しむことになりました。

加工科では射的コーナーを用意しました。職員の写真を的として並べて水鉄砲を撃ち、ポイントを得るという内容です。中には職員の面白い写真などもあり、利用者さんとみんなで一緒に準備している時から「なんだこれ」「面白い」と写真を見ては、大盛り上がりでした。射的が始まると、しっかりのを狙って撃ち、「やった」「ポイントゲット」と、とても楽しまれていまし

た。かなり気温も高かったので、いつの間にか写真ではなく、実際に職員目掛けて水鉄砲を撃ち、水遊びが始まってしまいました。皆さんでたくさん濡れて暑さも吹き飛ばし、とても楽しいイベントになりました。みらい科では、千本引きとびどう狩り、お魚すくい、スプラーで水を撒くとお花が開くというオリジナルのアトラクション



を用意しました。おやつがかかった千本引きでは、皆さん真剣な眼差しでヒモを選んでいました。ワクワクしながら引き当てたヒモにはなんと、カードが。

そう簡単には、おやつは手に入りません。カードと同じカゴを見つけ、マッチングしてからおやつを選びます。今回は各作業科を回り、移動式の千本引きで楽しんでいただきました。

みらい農園では前回記事でお知らせしたとおり、みらい科利用者さんが丹精をこめて作ったびどうが収穫時期を迎えました。びどう



ようかなと、大小あるびどうの中からお気に入りを選び、お持ち帰り。他作業科の利用者さんがみらい棟に足を運んでくれ、いっなくな賑やかでした。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、そろそろお腹が空いてきたところで、待望のB



BQの時間となりました。豪華なお肉と新鮮野菜が並びます。厨房で用意して頂いた焼きそばとフランクも鉄板の上で焼かれています。次々にお皿に盛り付けられ、職員が声をかけると自然と行列ができました。



「順番だよ」「後ろに並んで」「お箸はこ
だよ」と利用者さん同士で声を掛けながら、
食事を手に取り、召し上がっていました。
みなさん、「美味しいね」「ゆっくり食べな
よ」と、たくさん食べて飲んで、笑顔が溢
れます。

食事の後は、ピカソお手製オリジナルお
神輿を「我こそは」と名乗りを上げて、「ヨ
イショー」と担いで本館周りを移動します。
「わっしょいわっしょい」とみんなのリズ
ムが合っていました。

残暑まだまだ厳しいですが、また元気に
お仕事頑張ましようね。

石津遣幸さんを偲んで



簡易加工科の石津遣幸さんが8月17
日に旅立たれました。突然のお別れに、現
実を受け止められない日々を過ごしてい
ましたが、8月24日に告別式が執り行わ
れ、遣幸さんとお会いすることができたこ
とで、少しずつ現実を受け止め始められそ
うな気がしています。個人的ではありません
が少し、遣幸さんとの思い出をご紹介します。
出会った当初は一緒に散歩に行くこと
も許してもらえず、「一緒に行こう」と遣幸

さんに言っても「ダメだよ」と別の職員と
歩いていました。昼食後の歯磨きで仕上げ
を担当するとその後怒ってしまうことも
あり、なかなか縮まらない距離に悩んだ日
もありました。感覚が過敏なところもあり、
距離を縮めようとすればするほど触れら
れるのを恐れて逃げて行ってしまい、離れ
て見守ろうとすればどんどん遠くに行っ
てしまう、というのが遣幸さんへの出会っ
た初めの頃でした。その頃スポーツクラブ
の担当となりました。一緒にマラソンを走
ってもほとんど遠くに行ってしまうので
いつも後ろ姿を見ていました。心の距離が
縮まらないなら、嫌がられてもなるべく近
くにしようと思い、たくさん後ろ姿を追
かけました。運動を通して少しずつ心の距
離が縮まり、散歩では隣を歩いてくれるよ
うになり、マラソンもペースを気にしなが
ら隣で走ってくれるようになりました。遣
幸さんが不完全燃焼しないよう、毎週火曜
日のスポーツクラブは本当に全力で走り
ました。どうしても一位になりたい私は、
たまに前を走る遣幸さんに「ストップ」と
声をかけては追い越すギリギリで「競走よ
ーいスタート」とズルをしては遣幸さんが
「キヤー」と笑って走っていました。いつ
の日からかストレッチの時に身体に触れ
ても嫌がらず受け入れてくれるようにな
り、距離が縮まったことをとても喜んだの
を覚えています。

先日トリーニングセミナーという職員
の研修がありました。丸一日、合計3日間
の研修に遣幸さんも協力してください、初
めにお会いする方とコミュニケーション
をとったり、初めて行う活動があったり、
不安も多かったと思います。活動終了後に
労いを兼ね、道中コンビニに寄って「好き

なもの買ってあげる」と伝えると真っ先に
ハーゲンダッツのバーニアイスを手を取
りました。私は妻に財布を握られているの
で、思わず「嘘でしょ」と言うところニ
しながら「本当です」と手を離そうとし
ませんでした。その笑顔に負け、ハーゲン
ダッツを買い、車の中で食べました。ニコ
ニコしながらゆっくり味わって食べる姿を
鮮明に覚えています。自宅に到着し、その
ことをお母様にお伝えすると「いつもは別
なアイスを食べているので、ごちそうして
もらえるとお分かって高いものを選んだの
かもしれない」と、申し訳なさそうに話
しながらも、息子さんの新たな一面を伺
嬉しそうなお母様の温かい笑顔に、私も心
が温まりました。勝手ながら兄弟のように
気を遣わない関係になれたのかなと、とて
も嬉しかったです。ニコニコと体を揺らし
ながら美味しそうに食べていました。やっ
と仲良くなれた、心が通じ合えたと思っ
た矢先の訃報に、打ちひしがれ、やりきれな
い気持ちです。もう遣幸さんの笑顔を隣で
見られないなんていまだに信じられない
です。何事にも全力で真っ直ぐ、一生懸命
な遣幸さん。その頑張る場所を皆さ
んご存知かと思えます。あるご利用者さん
は家で「遣幸さんポルト作るのすごいで
だよ」と話しているそうです。遣幸さんを
目標として、今年度から初めてポルトの組
み立て作業に挑戦している方もおられま
した。

9月5日には事業所でお別れ会を行
いました。遣幸さんへ一言気持ちを伝えて色
とりどりのお花を手向けていました。中
には寂しくないように「キャラクタールの名
前も一緒にいるよ。天国でも元気だね」と
お伝えする方や、「今までありがとう」と感

謝の言葉をお伝えする方がいらっしや
いました。涙が溢れてうまく言葉にできな
い方もいましたが、皆さんしっかり手を合
せて気持ちを伝えることができました。お
別れにはなりますが、今まで一緒に過
した楽しい思い出はすこし心に残り続けま
す。皆さんを天国から温かく見守ってく
れていることを信じて、笑顔をたくさん見
せられるように活動していこうと思
います。心からご冥福をお祈りいたします。(藤巻)

9月の予定

- 18日(月) 開所日イベント
- 30日(日) ゆめふる成田落成式
- 10月の予定
- 9日(月) 育成会祭り準備
- 28日(土) 前日準備
- 29日(日) アーアンドディ祭り

環境整備

編集後記

遣幸さんとお別れの時に、事業所での
思い出をお話しさせていただきました。お
母様から、いつも事業所に行くのを楽し
みにしていたと伺いました。今でも翌日の準
備をしたままのカバンが置いてあること
がでした。楽しみに待っていてくれると
いうお話にとても嬉しく、感謝の思いで
いっぱいです。

これからも、ご利用される皆さんにとっ
て大切な場所であるように、皆さんの楽
しい時間を共に過ごさせていた
きたいと思います。(前田)